

令和5年度 埼玉県認定調査員新規研修 修了テスト

回答は電子申請・届出サービス「認定調査員新規研修修了証交付申請」から行ってください。

※ テキストや研修資料を参照しながら回答しても差し支えありません。満点を目指してください。

※ 他の受講者と相談、もしくは他の受講者の回答を参照して回答することは認められません。
不正が発覚した場合は、厳正に対処いたします。

第1問 <要介護認定の基本設計>

(令和3年度重点問題集)

各基本調査項目の定義にうまく当てはまらないなど判断に迷う際の基本調査の選択として、もっとも適切なものはどれですか。

1. 各基本調査項目の定義等に基づき選択する
2. 介護の手間がよりかかる方、状態が悪い方で選択する。
3. 迷った状況の特記事項に記載し、選択は空欄のままにしておく

第2問 <特記事項>

(初学者問題集)

介護の手間の平均的な出現頻度の記載方法について、もっとも適切なものは次のどれですか。

1. 頻繁に
2. 週2回
3. ときどき

第3問 <能力>

(令和4年度重点問題集)

実際に試行した状況と、介護者から聞き取りした状況が異なる場合の選択肢の選択方法について、正しいものはどれですか。

1. 常に、実際に行った結果で選択する
2. 常に、聞き取りした状況で選択する
3. 常に、より頻回に見られる状況に基づき選択する

第4問 <1-1 麻痺>

(令和3年度重点問題集)

()に当てはまる言葉を選んでください。

座位による上肢の麻痺等の確認動作で()できなければ「麻痺あり」とする。

1. 前方もしくは横のどちらかが
2. 前方・横ともに

第5問 <1-2 拘縮>

(全国テスト 13)

基本調査で、どの選択肢を選択すればよいですか。

日頃より、肩関節は他動的に動かせば動くが、自分では関節の動く範囲に制限がある。

1. 肩関節
2. その他
3. ない

第6問 <1-4 起き上がり>

(初学者問題集)

基本調査で、どの選択肢を選択すればよいですか。

体を支える目的ではなく、習慣的にベッド上に手をついて起き上がる。

1. つかまらないでできる
2. 何かにつかまればできる
3. できない

第7問 <1-5 座位保持>

(全国テスト 13)

基本調査で、どの選択肢を選択すればよいですか。

背もたれがない状態での座位の状態を 10 分程度保持できる能力は確認でき、日頃の能力も同様である。ただし、いつもは居間で背もたれやクッションに寄り掛かりくつろいでいる。

1. できる
2. 支えてもらえばできる

第8問 <1-7 歩行>

(初学者問題集)

基本調査で、どの選択肢を選択すればよいですか。

調査当日に試行したところ歩けなかったが、家族の話では日頃は5m程度ならつかまらずに歩けるとのことである。

1. つかまらないでできる
2. 何かにつかまればできる
3. できない

第9問 <1-12 視力>

(令和元年度重点問題集)

視野欠損がある場合、視力確認表はどこにおけばよいですか。

1. 正面
2. 正面から 45 度以内
3. 視野欠損等の影響のない視野内

第10問 <1-13 聴力>()に当てはまる言葉を選んでください。

(令和4年度重点問題集)

日常的に補聴器を使用している場合は()する。

1. 使用している状況で選択
2. 使用していない状況で選択
3. 使用している状況と使用していない状況の間をとって選択

第11問 <2-3 えん下>

(令和4年度重点問題集)

「見守り等」の選択基準として、正しいのはどれですか。

1. 実際に見守りが行われていることを必須とする
2. いつも「声かけ」を行っているので「見守り等」を選択した
3. 「できる」「できない」いずれにも含まれないと考えられたので「見守り等」を選択した

第12問 <介助の方法>

(全国テスト 13)

基本調査項目のうち「整髪」「洗顔」「つめ切り」について、生活習慣や寝たきり等によって介助の機会がない場合は、どのように選択しますか。

1. 「介助されていない」を選択する
2. 「一部介助」を選択する
3. 類似行為で評価する

第13問 <1-10 洗身>

(令和4年度重点問題集)

基本調査で、どの選択肢を選択すればよいですか。

自分で洗身を行っているが、介護者による見守りが行われている。

(ただし、不適切な状況にはないものとします)

1. 介助されていない
2. 一部介助
3. 全介助

第14問 <2-2 移動>

(初学者問題集)

正しければ○、誤っていれば×を選択してください。

室内の移動について、離れた場所から見守っているため「見守り等」を選択した。

1. ○
2. ×

第15問 <2-2 移動>

(令和2年度重点問題集)

基本調査で、どの選択肢を選択すればよいですか。

居室の隣にあるトイレまでの移動(5回程度/日)など、通常は介助なしで行っているが、居室から離れた食堂(3回/日)及び浴室(週2回)への車いすでの移動は全介助となる。

(ただし、不適切な状況にはないものとします)

1. 介助されていない
2. 一部介助
3. 全介助

第16問 <2-5 排尿>

(令和4年度重点問題集)

排尿の特記事項について、どのようなことに留意しますか。

1. 基本調査項目の定義に当てはまらないことは記載してはいけない
2. 介護の頻度について、ときどき、たまになどと記載する
3. 排泄方法、頻度、失敗の有無、昼夜の違いなどを記載する

第17問 <5-1 薬の内服>

(全国テスト 13)

薬の内服がない(処方されていない)場合について、正しいものはどれですか。

(ただし、不適切な状況にはないものとします)

1. 薬剤が処方された場合を想定して、本人の能力で選択する。
2. 薬剤が処方された場合を想定して、適切な介助の方法を選択する。
3. 介助が発生しないので「介助されていない」を選択する。

第18問 <4-1 被害的>

(全国テスト 13)

物をとられたと被害的になることが週1、2回あるが、特に対応はとっていない場合、基本調査ではどれを選択しますか。

1. ある
2. ときどきある
3. ない

第19問 <4-11 物や衣類を壊す>

(令和4年度重点問題集)

「以前は、週1回ほど、物を壊したり、衣類を破いたりしていたが、治療の効果により今はなくなった」場合、基本調査ではどれを選択しますか。

1. ある
2. ときどきある
3. ない

第20問 <過去 14 日間にうけた特別な医療>

(全国テスト 13)

特別な医療について、正しいのはどれですか。

1. 継続して実施されているもののみを対象としている
2. 医師の指示が過去14日以内に行われているものに限定される
3. 調査対象者や家族、介護者から情報を得る以外にも医療機関などから情報を聞くことも必要である

問題は以上です。

合格点について

合格点は 90 点です。90 点に満たない場合は、再度テストを受講する必要があります。
(90点に満たない場合(再度テストを受講する必要がある場合)は、後日連絡いたします。)
なお、合否に関するお問い合わせには一切お答えできません。